

## 別紙⑤\_点検調書様式

点検調書(その1) 橋梁の諸元													
ふりがな				施設管理番号			管轄		点検年月日	今回 :		前回 :	
橋梁名				路線	道路種別	全て		路線指定					
所在地					路線名			点検者(社名)				点検責任者	
架設年		橋長		活荷重・等級		適用示方書	上部工 :	下部工 :			物件1		
上部工形式		幅員	全幅員		地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	歩道幅	地覆幅	中央帶	中央 分離帯	交差 物件2
			有効幅員										
下部工形式		調査足場					特記事項						物件4
		関係機関協議先											
基礎形式				次回点検(予定)	年		特筆すべき劣化環境						
総合診断結果	健全度(橋単位)		(主要部材: 、主要部材以外: )										

点検調書(その2) 一般図

ふりがな		施設番号		管轄		点検年月日	今回		前回	
橋梁名		路線	道路種別	全て	路線指定					
所在地		路線名		点検者（社名）		点検責任者				

一般図

一般図を追加したい場合、このセルを選択し  
一般図追加ボタンをクリックしてください

点検調書(その3) 現地状況写真

ふりがな		施設番号		管轄		点検年月日	今回		前回	
橋梁名		路線	道路種別	全て		路線指定				
所在地			路線名			点検者（社名）			点検責任者	

現 況 状 況 写 真	写真番号	メモ	写真番号		メモ
	写真説明		写真説明		
	写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください				
現 況 状 況 写 真	写真番号	メモ	写真番号		メモ
	写真説明		写真説明		
	写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください				
	写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください				

点検調書(その4) 橋全体点検結果				総径間数																				
ふりがな					施設番号		管轄		点検年月日		今回						前回							
橋梁名					路線	道路種別	全て		路線指定															
所在地						路線名			点検者（社名）				点検責任者											
上部工形式		下部工形式		基礎形式																				
変状の種類 対象部材		鋼部材の変状		コンクリートの変状				その他				共通								主たる変状 健全度判定	備考 (補修されていれば、その内容、効果を記入する。)			
		①防食機能の劣化	②亀裂	③ゆるみ・脱落	④破断	⑤ひびわれ	⑥床版ひびわれ	⑦剥離・鉄筋露出	⑧漏水・遊離石灰	⑨抜け落ち	⑪うき	⑫遊間の異常	⑬路面の凹凸	⑭舗装の異常	⑮支承の機能障害	⑯その他	⑩補修・補強材の変状	⑰定着部の異常	⑱変色・劣化			⑲漏水・滯水	⑳異常な音・振動	㉑異常たわみ
上部工	主桁																							
	横桁等																							
	床版																							
下部工	橋台																							
	橋脚																							
	基礎																							
支承																								
その他	高欄・防護柵																							
	地覆																							
	伸縮装置																							
	舗装																							
	排水施設																							
	落橋防止システム																							
	その他																							
備考																								

※ 対象部材や対象変状が無い場合は「-」を入力。

入力を行う場合、対策区分は半角英字「A・B0・B1・C1・C2・E1・E2・S1・S2・M」のいずれかを入力。

主たる劣化要因についてはコード入力とし、<1:経年劣化(中性化を含む), 2:疲労・耐荷力不足, 3:塩害, 4:アルカリ骨材反応, 5:施工不良・初期損傷, 6:その他>から選択。

点検調書(その4) 径間別点検結果				径間番号																					
ふりがな				施設番号		管轄			点検年月日	今回			前回												
橋梁名				路線	道路種別	全て		路線指定																	
所在地					路線名			点検者（社名）			点検責任者														
上部工形式		下部工形式		基礎形式		状況記入欄																			
変状の種類 対象部材		鋼部材の変状				コンクリートの変状				その他				共通								主たる変状	備考 (補修されていれば、その内容、効果を記入する。)		
		①防食機能の劣化	②亀裂	③ゆるみ・脱落	④破断	⑤ひびわれ	⑥床版ひびわれ	⑦剥離・鉄筋露出	⑧漏水・遊離石灰	⑨抜け落ち	⑩うき	⑪遊間の異常	⑫路面の凹凸	⑬支承の機能障害	⑭舗装の異常	⑮その他	⑯	⑰定着部の異常	⑱変色・劣化	⑲漏水・滯水	⑳異常な音・振動			㉑異常たわみ	㉒変形・欠損
上部工	主桁																								
	横桁等																								
	床版																								
下部工	橋台																								
	橋脚																								
	基礎																								
支承																									
その他	高欄・防護柵																								
	地覆																								
	伸縮装置																								
	舗装																								
	排水施設																								
	落橋防止システム																								
	その他																								
備考																									

※ 対象部材や対象変状が無い場合は「-」を入力。

入力を行う場合、対策区分は半角英字「A・B0・B1・C1・C2・E1・E2・S1・S2・M」のいずれかを入力。

主たる劣化要因についてはコード入力とし、<1:経年劣化(中性化を含む), 2:疲労・耐荷力不足, 3:塩害, 4:アルカリ骨材反応, 5:施工不良・初期損傷, 6:その他>から選択。

点検調書(その5) 変状図	径間番号	
---------------	------	--

ふりがな		施設番号		管轄		点検年月日	今回		前回	
橋梁名		路線	道路種別	全て	路線指定					
所在地			路線名		点検者（社名）		点検責任者			

変  
状  
図

変状図を追加したい場合、このセルを選択し  
変状図追加ボタンをクリックしてください

点検調書(その6) 変状写真			径間番号							
ふりがな			施設番号		管轄		点検年月日	今回		前回
橋梁名			路線	道路種別	全て		路線指定			
所在地				路線名			点検者（社名）			点検責任者
変 状 写 真	写真番号		径間番号	メモ		写真番号		径間番号	メモ	
	部材名		部材番号	対策区分		部材名		部材番号	対策区分	
	変状の種類		変状程度			変状の種類		変状程度		

写真を追加したい場合、このセルを選択し  
写真追加ボタンをクリックしてください

写真を追加したい場合、このセルを選択し  
写真追加ボタンをクリックしてください

写真を追加したい場合、このセルを選択し  
写真追加ボタンをクリックしてください

写真を追加したい場合、このセルを選択し  
写真追加ボタンをクリックしてください

点検調書(その7) 部材番号図	径間番号	
-----------------	------	--

ふりがな	0	施設番号	0	管轄	0	点検年月日	今回	1900/1/0	前回	
橋梁名	0	路線	道路種別	全て	路線指定					
所在地	0	路線名	0	点検者（社名）			点検責任者			

部材番号図

部材番号図を追加したい場合、このセルを選択し  
部材番号図追加ボタンをクリックしてください

■トンネル台帳 【様式A-1】

フリガナ			路線名			管理者名			緊急輸送道路							
名称									代替路の有無							
所在地		自	作成者			作成年月日			トンネル延長		L= m					
		至							トンネルの分類							
起点	緯度					完成年月日		舗装	種別							
	経度					供用年月日			厚さ		m					
終点	緯度					トンネル等級		排水	面積		m <sup>2</sup>					
	経度					内装種類			更新年次							
一般有料区分					天井板種類			排水	種別							
土かぶり		m			坑門	起点	形式		更新年次							
内空断面積		m <sup>2</sup>							種別・方式		個数	更新年次				
交通量		台/日			竣工巻厚	終点	形式	m	照明							
幅員	道路幅		m													
	車道幅		m			アーチ		道路附屬物等	換気							
			m			側壁			標識							
高さ	歩道等幅		m			インバート		警報表示板	警報表示板							
	建築限界高		m			アーチ			吸音板							
	中央高		m			側壁										
線形	有効高		m			インバート		半径	吸音板							
	縦断勾配		%			アーチ										
	直線区間長		m			側壁										
曲線区間	区間長	区間長			占用物件	インバート		寸法	管理者名		更新年次					
		起点側クロソイド				種類										
		曲線半径														
		終点側クロソイド														
トンネル工法																

※緯度・経度については0.1単位まで記入することとする。

## ■ トンネル台帳 トンネル情報一覧表 【様式A-2】

1ページ

## ■ トンネル台帳 トンネル情報一覧表 【様式A-2】

2ページ

## ■ トンネル台帳 トンネル情報一覧表 【様式A-2】

3ページ

## ■ トンネル台帳 トンネル情報一覧表 【様式A-2】

4ページ

## ■ トンネル台帳 トンネル情報一覧表 【様式A-2】

5ページ

## ■ トンネル台帳 トンネル情報一覧表 【様式A-2】

6ページ

■トンネル台帳 トンネル記録 【様式A－3】

フリガナ	0	路線名	0	作成者	0	作成年月日	1900年1月0日
名称	0	管理者名	0				
位置図 現況写真 標準断面図 地質縦断図 施工実績	位置図		現況写真1		現況写真2		
			写真を追加したい場合、このセルを選択 し 写真追加ボタンをクリックしてください				写真を追加したい場合、このセルを選択 し 写真追加ボタンをクリックしてください
			標準断面図		地質縦断図		
	施工実績						
			写真を追加したい場合、このセルを選択 し 写真追加ボタンをクリックしてください				写真を追加したい場合、このセルを選択 し 写真追加ボタンをクリックしてください

■点検調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式B】

1 ページ

フリガナ	0		路線名	0		管理者名		0		緊急輸送道路	0			
名称	0			代替路の有無	0									
所在地	自	0	点検業者・点検者名				点検年月日			トンネル延長	L=	0	m	
	至	0	調査業者・調査技術者名				調査年月日			トンネルの分類	0			
起点	緯度	°' "	変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	箇所	Ⅲ	箇所	Ⅳ	トンネル毎 の健全性	附属物の 取付状態	×	
	経度	°' "			漏水	Ⅱ	箇所	Ⅲ	箇所	Ⅳ				箇所
終点	緯度	°' "			外力	Ⅱ	スパン	Ⅲ	スパン	Ⅳ				スパン
	経度	°' "												
トンネル 変状 ・ 異常 箇所 写 真 位置 図	<p>位置図を追加したい場合、張り付けるセルを選択し 位置図追加ボタンをクリックしてください。</p> <p>写真位置を追加したい場合、張り付けるセルを選択し 写真位置追加ボタンをクリックしてください。</p>													

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

## ■点検調書 点検結果総括表（トンネル本体工）【様式C-1-1】

1ページ

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。

※ 1区間の覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること。

## ■点検調書 点検結果総括表（トンネル本体工）【様式C-1-1】

1ページ

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。

※ 1区間の覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること。

■点検調書 点検結果総括表（トンネル内附属物の取付状態）【様式C-1-2】

1ページ

※ 異常の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。

※ 1スパンの覆工に複数の異常がある場合は、異常箇所毎に記入すること。

## ■点検調書 調査・措置の履歴 【様式C-2】

1ページ

■点検調書 変状写真台帳【様式D-1】

フリガナ	0		路線名	0		点検業者・点検者名	0		点検年月日	1900年1月0日	
名称	0		管理者名	0		調査業者・調査技術者名	0		調査年月日	1900年1月0日	
写真番号	覆工スパン番号					写真番号	覆工スパン番号				
	変状番号						変状番号				
変状部位	対象箇所					変状部位	対象箇所				
	部位区分						部位区分				
変状区分						変状区分					
変状種類						変状種類					
健全性	点検・調査後					健全性	点検・調査後				
	措置後						措置後				
変状の発生範囲の規模						変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態						前回点検時の状態					
調査(方針)			実施日		実施状況	調査(方針)			実施日		実施状況
措置(方針)			実施日		実施状況	措置(方針)			実施日		実施状況
メモ											
写真番号	覆工スパン番号					写真番号	覆工スパン番号				
	変状番号						変状番号				
変状部位	対象箇所					変状部位	対象箇所				
	部位区分						部位区分				
変状区分						変状区分					
変状種類						変状種類					
健全性	点検・調査後					健全性	点検・調査後				
	措置後						措置後				
変状の発生範囲の規模						変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態						前回点検時の状態					
調査(方針)			実施日		実施状況	調査(方針)			実施日		実施状況
措置(方針)			実施日		実施状況	措置(方針)			実施日		実施状況
メモ											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検調書 異常写真台帳（トンネル内附属物の取付状態）【様式D-1-2】

フリガナ	0		路線名	0		点検業者・点検者名	0		点検年月日	1900年1月0日					
名称	0		管理者名	0		調査業者・調査技術者名	0		調査年月日	1900年1月0日					
写真番号	覆工スパン番号			<p style="text-align: center;">写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください <b>*覆工スパン番号、異常番号を 入力してから写真を追加してください</b></p>		写真番号	覆工スパン番号			<p style="text-align: center;">写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください <b>*覆工スパン番号、異常番号を 入力してから写真を追加してください</b></p>					
	異常番号						異常番号								
異常部位	対象箇所					異常部位	対象箇所								
	部位区分					部位区分	部位区分								
異常種類			異常種類			異常種類									
健全性	点検・調査後	措置後	健全性			点検・調査後	措置後	健全性	点検・調査後			措置後	健全性	点検・調査後	措置後
異常の規模			異常の規模			異常の規模									
前回点検時の状態			前回点検時の状態			前回点検時の状態									
措置内容						実施状況	措置内容					実施状況			
特記事項															
写真番号	覆工スパン番号		<p style="text-align: center;">写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください <b>*覆工スパン番号、異常番号を 入力してから写真を追加してください</b></p>		写真番号	覆工スパン番号			<p style="text-align: center;">写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください <b>*覆工スパン番号、異常番号を 入力してから写真を追加してください</b></p>						
	異常番号					異常番号									
異常部位	対象箇所				異常部位	対象箇所									
	部位区分				部位区分	部位区分									
異常種類					異常種類		異常種類								
健全性	点検・調査後	措置後			健全性	点検・調査後	措置後	健全性			点検・調査後	措置後	健全性	点検・調査後	措置後
異常の規模					異常の規模		異常の規模								
前回点検時の状態					前回点検時の状態		前回点検時の状態								
措置内容					実施状況	措置内容					実施状況				
特記事項															

■点検調書 トンネル全体変状展開図 【様式D-2】

1 ページ

フリガナ	0	路線名	0	点検業者・点検者名	0	点検年月日	1900年1月0日
名称	0	管理者名	0	調査業者・調査技術者名	0	調査年月日	1900年1月0日

トンネル全体変状展開図

トンネル  
変状  
展開図

展開図を追加したい場合、このセルを選択し  
展開図追加ボタンをクリックしてください

## ■点検調書 覆工スパン別変状詳細展開図 【様式D-3】

フリガナ	0	路線名	0	点検業者・点検者名	0	点検年月日	1900年1月0日
名称	0	管理者名	0	調査業者・調査技術者名	0	調査年月日	1900年1月0日

スパン番号 | ページ

健全性判定集計表

## 特記事項

注1：本展開図は、見下された状態で記載すること。  
注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの  
横断方向目地毎)に設定すること。  
注3：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。  
注4：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。

スパン別変状展開図

■診断調書 診断結果（変状単位）【様式E-1】

1ページ

フリガナ	0	路線名	0	点検業者・点検者名	0	点検年月日	1900年1月0日
名称	0	管理者名	0	調査業者・調査技術者名	0	調査年月日	1900年1月0日
覆エスパン番号	外力	材質劣化	漏水	覆エスパン番号	外力	材質劣化	漏水
坑門工	I	I	I	I	I	I	I
	II	II	II	II	II	II	II
	III	III	III	III	III	III	III
	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV
	箇所数				箇所数		
健全性				健全性			
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	I	I	I	I	I	I	I
	II	II	II	II	II	II	II
	III	III	III	III	III	III	III
	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV
	箇所数				箇所数		
健全性				健全性			
本体工	I	I	I	I	I	I	I
	II	II	II	II	II	II	II
	III	III	III	III	III	III	III
	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV
	箇所数				箇所数		
健全性				健全性			
箇所数	I	I	I	I	I	I	I
	II	II	II	II	II	II	II
	III	III	III	III	III	III	III
	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV
	健全性				健全性		
箇所数	I	I	I	I	I	I	I
	II	II	II	II	II	II	II
	III	III	III	III	III	III	III
	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV
	健全性				健全性		
箇所数	I	I	I	I	I	I	I
	II	II	II	II	II	II	II
	III	III	III	III	III	III	III
	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV
	健全性				健全性		
箇所数	I	I	I	I	I	I	I
	II	II	II	II	II	II	II
	III	III	III	III	III	III	III
	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV
	健全性				健全性		

※ 外力に起因する変状は変状の種類毎に覆エスパン単位で計上し、材質劣化、漏水に起因する変状は変状単位で計上すること。

■診断調書 診断結果（覆工スパン毎、トンネル毎） 【様式E-2】

1ページ

フリガナ	0	路線名	0	点検業者・点検者名	0	点検年月日	1900年1月0日
名称	0	管理者名	0	調査業者・調査技術者名	0	調査年月日	1900年1月0日
覆工スパン毎、トンネル毎の健全性の判定	健全性 I～IVを 覆工スパン 毎に記入 する						
集計	健全性 I	健全性 II	健全性 III	健全性 IV	トンネルの健全性		
	0	0	0	0			

点検調書(その1) 横断歩道橋の諸元と総合検査結果
---------------------------

撤去	
更新	
連番	

度	分	秒	横断歩道橋ID
緯度			
経度			

ふりがな				路線名			管轄	管理番号			
名称											
所在地	自				距離標	自		調書更新年月日			
	至					至		最新点検年月日			

供用開始日				橋長		活荷重・等級			適用示方書					交通条件	調査年		年度	
上部構造形式					幅員	全幅員		地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	歩道幅	地覆幅	中央帯	センサス区間番号	基本区間番号を記入		
						有効幅員									又通量 (昼間12時 間)	台		
下部構造形式					備考											大型混入率	%	
基礎形式																荷重制限	t	

総合検査結果	健全度 (横断歩道橋単位)															

点検調書(その2) 径間別一般図	径間番号		度	分	秒	横断歩道橋ID	
緯度							
経度							

ふりがな			路線名			管轄	管理番号		
名称							調書更新年月日		
所在地	自		距離標	自					
至				至					

全体図	<p>全体図を追加したい場合、このセルを選択し 全体図追加ボタンをクリックしてください</p>
一般図	<p>一般図を追加したい場合、このセルを選択し 一般図追加ボタンをクリックしてください</p>

点検調査(その3) 現地状況写真		径間番号	0			度	分	秒	横断歩道橋ID	0
ふりがな 名 称	0 0	路線名	0			緯度 経度	0 0	0 0		
所在地	自	0	距離標	自	0		管轄	0	管理番号	0
	至	0		至	0				調書更新年月日	1900/1/0
									1900/1/0	
現地状況写真	写真番号	1	撮影年月日	0	0	0	写真番号	2	撮影年月日	0 0 0
	径間番号	0	メ モ			径間番号	0	メ モ		
	写真説明	0				写真説明	0			
	写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください			0	写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください			0		
現地状況写真	写真番号	3	撮影年月日	0	0	0	写真番号	4	撮影年月日	0 0 0
	径間番号	0	メ モ			径間番号	0	メ モ		
	写真説明	0				写真説明	0			
	写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください			0	写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください			0		

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図	径間番号	0
------------------------	------	---

	度	分	秒	横断歩道橋ID	0
緯度	0	0	0		
経度	0	0	0		

ふりがな	0	路線名	0	管轄	0	管理番号	0
名称	0					調書更新年月日	1900/1/0
所在地	自 至	0 0	距離標				1900/1/0

<p>要素番号図 及び 部材番号図</p> <p style="text-align: center;">要素番号図及び部材番号図を追加したい場合、このセルを選択し 図追加ボタンをクリックしてください</p>
--

点検調書(その5) 損傷図	径間番号	0
---------------	------	---

	度	分	秒	横断歩道橋ID	0
緯度	0	0	0		
経度	0	0	0		

ふりがな 名 称	0 0	路線名	0	管轄 0	管理番号	0
所在地	自 至	0	自 至		調書更新年月日	1900/1/0
					最新点検年月日	1900/1/0

損傷図	<p style="text-align: center;">損傷図を追加したい場合、このセルを選択し 図追加ボタンをクリックしてください</p>
-----	---

点検調書(その6) 損傷写真				径間番号	0			度	分	秒	横断歩道橋ID	0				
					緯度	0	0	0								
					経度	0	0	0								
ふりがな	0			路線名	0			管轄	0	管理番号	0					
名称	0									調書更新年月日	1900/1/0					
所在地	自	0			距離標	自	0			最新点検年月日	1900/1/0					
	至	0				至	0									
損傷写真	写真番号	1	径間番号	0	撮影年月日	0	0	0	写真番号	2	径間番号	0	撮影年月日	0	0	0
	部材名	0	要素番号	0	メモ				径間番号	0	要素番号	0	メモ			
	損傷の種類	0	損傷程度	0	0				写真説明	0	損傷程度	0	0			
	写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください				0				写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください				0			
	写真番号	3	径間番号	0	撮影年月日	0	0	0	写真番号	4	径間番号	0	撮影年月日	0	0	0
	部材名	0	要素番号	0	メモ				径間番号	0	要素番号	0	メモ			
	損傷の種類	0	損傷程度	0	0				写真説明	0	損傷程度	0	0			
	写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください				0				写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください				0			

点検調書(その7) 損傷程度の評価記入表(主要部材)	径間番号	0
----------------------------	------	---

度	分	秒	横断歩道橋ID	0
緯度	0	0		
経度	0	0		

ふりがな 名 称	0 0	路線名	0	管轄	0	管理番号	0
所在地	自 至	0	自 至			調書更新年月日	1900/1/0
	0	距離標	0			最新点検年月日	1900/1/0

点検調書(その8) 損傷程度の評価記入表 (点検調書(その7)に記載以外の部材)	径間番号	0
---	------	---

度	分	秒	横断歩道橋ID	0
緯度	0	0		
経度	0	0		

ふりがな 名 称	0 0	路線名	0		管轄	0	管理番号	0	
所在地	自	0		距離標	自	0		調書更新年月日	1900/1/0
	至	0			至	0		最新点検年月日	1900/1/0

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	0
-----------------------	------	---

度	分	秒	横断歩道橋ID	0
緯度	0	0		
経度	0	0		

ふりがな 名称	0 0		路線名	0		管轄	0	管理番号	0	
所在地	自	0		距離標	自	0		調書更新年月日	1900/1/0	
	至	0			至	0		最新点検年月日	1900/1/0	

点検調書(その10) 対策区分判定結果(主要部材)	径間番号	0
---------------------------	------	---

度	分	秒	
緯度	0	0	0
経度	0	0	0

ふりがな 名 称	0 0		路線名	0		管轄	0	管理番号	0	
所在地	自	0		距離標	自	0		調書更新年月日	1900/1/0	
	至	0			至	0		最新点検年月日	1900/1/0	

点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の部 材)	径間番号	0
---	------	---

度	分	秒		
緯度	0	0	0	横断歩道橋ID
経度	0	0	0	0

ふりがな 名 称	0 0	路線名	0	管轄	0	管理番号	0
所在地	自 至	0 0	距離標	自 至	0 0	調書更新年月日	1900/1/0
						最新点検年月日	1900/1/0

撤去	
更新	

連番	
管理番号	
点検実施年月日	

点検記録様式（その1）

## ●施設名・所在地・管理社名等

施設名（フリガナ）	路線名	所在地	起点側	度(°)	分(')	秒(")
				緯度		
地下道				緯度		
管理社名	点検実施年月日	代替路の有無 一番近い 横断歩道(m)	交通量(台/日)	緊急輸送道路	占用物件(名称)	

## ●部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検時に記録		点検者	点検責任者		
			措置後に記録		
部材名	判定区分 (I ~IV)	変状の種類 (II 以上の場合に記載)	備考（写真番号・ 位置等が分かる ように記載）	措置後の 判定区分	変状の種類 及び判定 実施年月日
本体	カルバート本体				
	継手				
	ウイング				
	その他				
入口 (上屋)	主梁(上部構造)				
	横梁(上部構造)				
	頂版(上部構造)				
	壁・柱(上部構造)				
	受台(下部構造)				
	基礎(下部構造)				
	支承部				
階段部	その他				
	踏み板				
	蹴上げ				
	手すり				
	地覆				
その他	その他				
	排水施設				
	入口上屋側面				
その他／照明・舗装等					

## ●施設毎の健全性の診断(対策区分 I ~ IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

## ●全景写真(起点側、終点側を記載すること)

建設年次	延長	幅員	
			<p style="color: red;">手前:起点 奥側:終点</p> <p>写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください (全景写真など)</p>

※建設年次が不明の場合は不明と記入する

連番	0
管理番号	0
点検実施年月日	1900/1/0

点検記録様式（その2）

●状況写真（損傷状況）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真是、不具合の程度が分かるように添付すること。

カルバート本体( 0 ) 【判定区分 : 0 】	継手( 0 ) 【判定区分 : 0 】
0	0
写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください (損傷状況写真)	
ウイング( 0 ) 【判定区分 : 0 】	その他( 0 ) 【判定区分 : 0 】
0	0
写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください (損傷状況写真)	

連番	0
管理番号	0
点検実施年月日	1900/1/0

点検記録様式（その2）

●状況写真（損傷状況）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造( 0 ) 【判定区分 : 0 】 0	下部構造( 0 ) 【判定区分 : 0 】 0
<p>写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください (損傷状況写真)</p>	
支承部( 0 ) 【判定区分 : 0 】 0	その他( 0 ) 【判定区分 : 0 】 0
<p>写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください (損傷状況写真)</p>	

連番	0
管理番号	0
点検実施年月日	1900/1/0

点検記録様式（その2）

●状況写真（損傷状況）

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

階段部( 0 ) 【判定区分 : 0 】	階段部( 0 ) 【判定区分 : 0 】
0	0
<p>写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください (損傷状況写真)</p>	
その他( 0 ) 【判定区分 : 0 】	その他( 0 ) 【判定区分 : 0 】
0	0
<p>写真を追加したい場合、このセルを選択し 写真追加ボタンをクリックしてください (損傷状況写真)</p>	

調査日時	
調査者	
調査対象施設(設置形式名称)	

撤去	
更新	
連番	
管理番号	
管理事務所	
路線名	
所在地	
設置箇所名	
設置年度	

### ポンプ排水設備 点検シート

分類	点検箇所	点検項目の一例	点検方法	判断基準	点検結果			【参考】 点検目安
					結果 ※1	管理上の 問題点	今後必要な対 策	
ポンプ 電動機	羽根車	異物の詰まり	分解	詰まりのないこと				1年
		摩耗	分解	異常のないこと				1年
	主軸まわり	回転ムラ	手回し	異常に重くないこと				1年
	軸受	発熱、異音	感覚	異常発熱、異音のこと				使用時
	絶縁抵抗	抵抗値	測定	1MΩ以上のこと				使用時
	グランドバッキン	漏水状態	目視	適量のこと				使用時
	メカニカルシール	漏水状態	目視	目視できるほど漏水のこと				使用時
	本体	異音	聴覚	異常のないこと				使用時
		異常振動	聴覚	異常のないこと				使用時
		動作確認	運転	自動始動及び自動停止作動が完了するか				使用時
電源	電源端子台	電圧	測定	規程電圧であること				使用時
		電圧変動	測定	許容変動範囲内のこと				使用時
制御盤	各接続端子台	ネジの緩み	増締	緩みのないこと				1年
		発熱の跡	目視	変色していないこと				1年
		ほこりの付着	目視	必要なら清掃する				1年
	電磁開閉器	接点の摩耗	目視	厚さが新品の2/3以上				使用時
		接点の接触状態	目視	接触面がなめらか				使用時
		ネジの緩み	増締	緩みのないこと				使用時
	計器	電流計指示点検	目視	定格値以内のこと				使用時
	各表示灯	点灯確認	目視	異常のないこと				使用時
	ELB、MCB、切替スイッチ	操作位置	目視	トリップしていないこと				使用時
機器類	逆止弁、減圧弁、電磁弁、排気弁、吸気弁、フート弁、安全弁	異物の詰まり	分解	詰まりのないこと				1年
		弁体の摩耗	分解	異常のこと				1年
	動作	目視	正常に動作すること					使用時
	圧力タンク	封入圧力	測定	規定値とおり封入されていること				使用時
	圧力スイッチ	接点	目視	異物の付着のないこと				使用時
	動作	目視	設定値通り動作すること					使用時
	圧力発信機	設定信号	目視	圧力表示すること				使用時
	圧力計	指示値の確認	目視	メートルラグを閉め、圧力を抜き、針が0を指す				使用時
	フロースイッチ	動作	目視	設定値通り動作すること				使用時
	安全弁	動作	目視	動作していないこと				使用時
環境 ・その他	電圧計	電圧変動	目視	規定電圧かどうか				使用時
	温度	仕様の範囲	測定	仕様範囲内のこと				使用時
	湿度		測定					使用時
	ほこりなど		目視	ないこと(清掃する)				使用時
	ポンプ・配管・弁類	水漏れ	目視	異常のこと				使用時
	起動頻度	回数	測定	異常に頻度が高くなないこと				使用時

※1: 点検結果のチェック区分

○: 問題なし(次回点検時に再確認)

△: 経過観測(次回時期を決めたうえで再確認)

×: 問題顕著(早期対策が必要)

-: 点検対象項目外となる項目

※2: 上記は定期点検の目安です。メーカー、機種等により異なる場合がありますので、詳細点検事項については、別途各メーカーにご相談ください。

県庁内 P C (表示装置) : 道路情報表示装置

撤去	
更新	

総合点検

連番	
管理番号	
設置年度	

調査日時			
調査者			
調査対象設備			
点検周期	番号		番号1 : 毎日 番号2 : 12ヶ月

No	確認事項の概要	点検項目	点検周期	点検結果(※)	管理上の問題点	今後必要な対策
1	動作機能の確認	表示制御	主制御機から表示制御して、表示板が正常に表示し、制御結果が正常にモニタすることを確認する。	1ヶ月		
		照合制御	主制御機から照合制御して、表示板の状態を受信し、監視結果が正常にモニタすることを確認する。	1ヶ月		
		一斉動作	主制御機から全端末に一斉表示制御又は一斉照合制御を行い、制御結果が正常にモニタすることを確認する。	1ヶ月		
2	システム相互間の関連動作の確認	県庁主制御機と中津主制御機の保存されている履歴内容が同一であることを確認する。	1ヶ月			
3	主制御機の表示灯確認	表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。	1ヶ月			
4	時計の確認	システムで使用されている時計等の確認をし、再設定をする。	1ヶ月			
5	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	1ヶ月			
6	図書類・予備品等の確認	図書類が整理・保管されていることを確認する。	1ヶ月			
		予備品類の保管状態・数量等を確認する。	1ヶ月			

事務所 P C (表示装置) : 道路情報表示装置

連番	0
管理番号	0
設置年度	0

調査日時	1900/1/0		
調査者	0		
調査対象設備	0		
点検周期	番号	0	番号1 : 毎日 番号2 : 12ヶ月

No	確認事項の概要	点検項目	点検周期	点検結果(※)	管理上の問題点	今後必要な対策
1	動作機能の確認	表示制御	主制御機から表示制御して、表示板が正常に表示し、制御結果が正常にモニタすることを確認する。	使用時		
		照合制御	主制御機から照合制御して、表示板の状態を受信し、監視結果が正常にモニタすることを確認する。	使用時		
2	時計の確認	システムで使用されている時計等の確認をし、再設定をする。	使用時			
3	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。	1ヶ月			

(※) 点検結果のチェック区分

- : 点検周期に該当しない=点検対象外となる項目
- : 問題なし (次回点検時に再確認)
- △ : 経過観測 (次回時期を決めたうえで再確認)
- × : 問題顕著 (早期対策が必要)

<点検表(施設諸元)>

<input type="button" value="撤去"/>	<input type="button" value="更新"/>	<input type="button" value=""/>	<input type="button" value="達番"/>	<input type="button" value=""/>
			点検年月日	
			整理番号	
			管理番号	

■位置情報

道路種別		路線番号		路線名				上・下別	
所在地								距離標 (km)	
緯度 (世界測地系)	度	分	秒 (0.1秒単位)	経度	度	分	秒 (0.1秒単位)	備考	

■構造情報

支柱形式				表面処理形式				基礎形式	
支柱基部 リブ形状				路面境界部 の状況				灯具種類	
標識設置枚数 及び標識番号				標識板の 取付形式				標識板の落下 防止対策	
ゆるみ止め 対策の有無	無(当該無し)			合いマーク				制振装置 の有無	
柱基部排水性 向上対策	無(当該無し)			設置年月	年	月	備考		

■設置環境情報

設置環境			海岸から の距離(km)			融雪剤 散布区間		
防雪対策 実施区間			センサス 年度			センサス 区間番号		
道路幅員 (m)			歩道幅員 (m)			緊急輸送道路 指定の有無		
						備考		

■点検情報

点検種別			点検方法			点検年月日			前回 点検年月日		
点検員所属 (会社名)			点検員氏名			点検確認者					

○年(西暦)・月数値記入

更新履歴 (回数)		前回設置年月		
--------------	--	--------	--	--

■位置図・■ポンチ絵、写真(全景、その他)等を追加したい場合、

このセルを選択し、追加ボタンをクリックしてください

注1:緯度・経度については、世界測地系、60進法で0.1秒単位まで記入する  
注2:距離標、センサス(年度、区間、交通量)については、ある場合に記入する。

## <点検表(点検結果票)>

種別	0	管理者	0	点検年月日	1900/1/0
				整理番号	0
				管理番号	0

■点検結果

部材及び点検箇所			対象有無 (有・無)	点検状況 (済・未)	損傷程度の評価												対策の要否 (要・否)	部材の健全性の診断 (I ~ IV)		
					変状の種類															
					鋼部材			コンクリート部材			共通									
部材等	点検箇所	記号	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後		
支柱	支柱本体	支柱本体	Pph																	
		支柱繋手部	Ppj																	
		支柱分歧部	Ppd																	
		支柱内部	Ppi																	
	支柱基部	リブ・取付溶接部	Pbr																	
		柱・ベースプレート溶接部	Pbp																	
		ベースプレート取付部	Pbb																	
		路肩境界部(GL=0)	Pgl-0																	
		路肩境界部(GL=40)	Pgl-40																	
	その他	柱・基礎境界部	Ppb																	
		電気設備用開口部	Phn																	
		開口部ボルト	Phb																	
横梁	横梁本体	横梁本体	Obh																	
		横梁取付部	Obi																	
		横梁トラス本体	Oth																	
	溶接部・継手部	横梁仕口溶接部	Cbw																	
		横梁トラス溶接部	Otw																	
標識板等	標識板	標識板(添架含む)	Srs																	
		標識板取付部																		
	道路情報板	道路情報板																		
		道路情報板取付部																		
	その他(灯具等)	灯具	Sli																	
		灯具取付部																		
基礎	基礎コンクリート部	基礎コンクリート部	Bbc																	
	アンカーボルト・ナット	アンカーボルト・ナット	Bab																	
プラケット	プラケット本体	プラケット本体	Brh																	
	プラケット取付部	プラケット取付部	Bri																	
その他	その他	ハンド部(共架型)	Xbn																	
		配線部分	Xwi																	
		管理用の足場・作業台	-																	
施設の健全性の診断(I ~ IV)																				

■所見(その他特記事項)

--

■点検予定

点検ができなかった部位		点検予定期間	
点検ができなかった理由		点検実施方法	

■ポンチ絵、写真等を追加したい場合、

このセルを選択し、追加ボタンをクリックしてください

※部材の健全性の診断欄のハッチ(濃いグレー)部は、通常では存在しない点検箇所と変状の種類の組み合わせである。  
※点検調書(例)は、各道路管理者の判断により、大型の道路標識及び道路情報提供装置以外についても定期点検を実施する場合を想定し、共通様式として使用できるよう作成したものである。

<点検表(損傷記録票)>

頁番号	1
点検年月日	1900/1/0
整理番号	0
管理番号	0

■損傷程度の評価および措置(応急含む)

部材名称	変状の種類									
損傷程度の評価	部材判定	鋼部材					コンクリート部材		共通	
		き裂	ゆるみ・脱落	破断	腐食	変形・欠損	ひびわれ	うき・剥離	滯水	その他
	点検時評価									
	措置後評価									
措置(応急含む)	実施内容									
	未実施	理由								
		予定期								
		予定内容								
特記事項										

■ポンチ絵、写真(損傷部位、箇所を記載、・措置(又は応急措置)前後の写真等)

を追加したい場合、このセルを選択し、追加ボタンをクリックしてください

\*点検箇所毎につき、なるべく1枚で作成(変状の種類に対する判定区分が、1つでもⅡ～Ⅳと判定された部材毎に作成する)

<点検表(板厚調査結果記録票)>

種別	0	管理者	0	点検年月日	1900/1/0
				整理番号	0
				台帳番号	0

■板厚調査結果

調査部位			測定厚				管理 板厚 $t_c$ (mm)	限界 板厚 $t_L$ (mm)	損傷程度 の評価
部材	調査箇所	記号	測定位置	番号	1回目	2回目			
支柱	支柱本体	Pph	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
	電気設備用開口部	Phh	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
			左	5					
			右	6					
	柱・ベースプレート溶接部	Ppb	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
	路面境界部 (GL-40)	Pgl-40	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
	柱・基礎境界部	Ppb	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
横梁	横梁本体	Cbh	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
	横梁・ベースプレート溶接部	Cbw	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
	横梁仕口溶接部	Cbw	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					

※測定位置については、円周方向4箇所以上とし、腐食状況等に応じて測定箇所を増やすなど適切に状況を把握できるよう考慮すること。

※標準的な測定位置については、付録-3を参照。

## 別紙3 点検表記録様式 (1)ロックシェッド・スノーシェッド

様式1(その1)

所在地・管理者名等

整理番号	施設管理番号	路線名	所在地	起点側	緯度	
					経度	
管理者名	点検実施年月日	代替路の有無	自専道or一般道	啓開路線	占用物件(名称)	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)		点検者	点検責任者	措置後に記録		
点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I ~ IV)	変状の種類 (II 以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が 分かるように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主梁					
	横梁					
	頂版					
	壁・柱					
下部構造	受台					
	谷側・基礎					
支承部						
その他						

施設毎の健全性の診断(対策区分 I ~ IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(健全性)	(所見等)	(健全性)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

建設年次	延長	幅員

※建設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

## 様式(その2)

## 状況写真(損傷状況)

- 部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載
- 写真是、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造本体( )【判定区分: ]	下部構造( )【判定区分: ]
支承部【判定区分: ]	その他【判定区分: ]

## 別紙3 点検表記録様式 (2)大型カルバート

様式1(その1)

所在地・管理者名等

整理番号	施設管理番号	路線名	所在地	起点側	緯度	
			経度			
管理者名		点検実施年月日	代替路の有無	自専道or一般道	啓開路線	占用物件(名称)

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検時に記録		点検者	点検責任者	措置後に記録		
部材名	判定区分 (I ~ IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
カルバート本体						
継手						
ウイング						
その他						

施設毎の健全性の診断(対策区分 I ~ IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(健全性)	(所見等)	(健全性)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

建設年次	延長	幅員	

※建設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

## 様式(その2)

## 状況写真(損傷状況)

- 部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載
- 写真是、不具合の程度が分かるように添付すること。

カルバート本体( )【判定区分: ]	継手( )【判定区分: ]
ウイング( )【判定区分: ]	その他【判定区分: ]

## 別紙2

## 調査記録表

管 理 機 閣	大分県
---------	-----

路線名			整理番号			施設管理番号			所在地					距離標(自)			(至)														
現道・旧道区分			幅員5.5m以上の有無			上下線の区別			事前通行規制の有無			道路防災点検結果			災害履歴の有無			緯度・経度 (世界測地系)	起点	北緯	東経										
施設種別			施設種別詳細			施設延長(m)			完成年月	年	月	最新の補修履歴			年	月	終点	北緯	東経												
補修内容																															
平面図(構造物の位置、範囲が分かるもの)												位置図(縮尺1/25,000)																			
展開図												横断図																			
(※点検結果を図示)																															
<一次調査結果> 調査実施年月: 年 月 所見:												<二次調査結果> 調査実施年月: 年 月 所見:																			
												判定区分								健全性											
今後の対応:																															
備考:																															

## 現状写真

管 理 機 関	大分県	

路線名	整理番号		施設管理番号		所在地		距離標(自)		(至)	
-----	------	--	--------	--	-----	--	--------	--	-----	--

写真タイトル  
(コメントを記入)

写真タイトル  
(コメントを記入)

写真タイトル  
(コメントを記入)

写真タイトル  
(コメントを記入)

様式－2 箇所別記録表(落石・崩壊)

												管 理 機 関 名													
												管 理 機 閣 コ ー ド													
施設管理番号		点検対象項目		路線名		距離標(自)		(至)		上下線の別		延長		m											
事業区分		道路種別		現道・旧道路区分		所在地		大分県	市		位置目印		北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒	測地系				
事前通行規制区間指定				規制基準等		連続雨量		mm	時間雨量	mm	交通量	平日	台/12h	休日	台/12h	DID区間		バス路線		迂回路		緊急輸送道路区分			
スケッチ・現況写真(既設対策工、位置目印との位置関係が分かるもの)												位 置 図 (縮尺1/25,000)													
<p>特 記 事 項</p> <p>点 検 実 施 H 年 月 日 天候: ( )</p> <p>調 査 方 法</p> <p>所 見 及 び 備 考 (評価理由)</p>												被 災 履 歴		( ) (H8年度以降)											
												重複点検対象項目		対応施設管理番号:											
												H8年度点検結果		評点 ( 点) 総合評価: / 対応: ( )											
												H 8 年度点検結果		評点 ( 点) 自然斜面 点) 総合評価:											
												予 想 灾 害 規 模		現象1:										規模1:	
														現象2:										規模2:	
														現象3:										規模3:	
												想 定 対 策 工		工種1:										その他1:	
														工種2:										その他2:	
工種3:										その他3:															
												地震時の安定性( 落石 ・ 崩壊のみ ):													

施設管理番号

部分記号

## 様式-7 安定度調査表(落石・崩壊)

点検者	
所属機関	

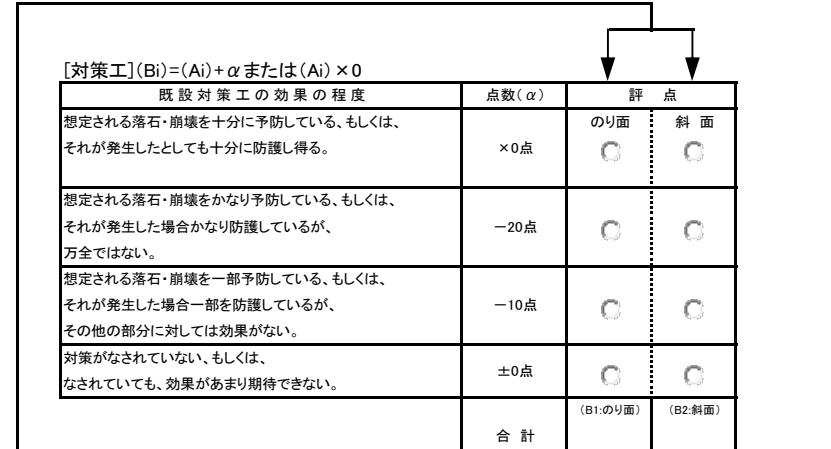
## [要因](Ai)

項目	要因	のり面		自然斜面				
		評点区分	配点	評点	評点区分			
地 形 持 つ 因 地 形	G1:崖錐地形	G1に該当する	○	3	G2の内 複数地形該当	○	3	
	G2:崩壊跡地	.....	.....	.....	G2の内 1地形該当	○	2	
	(遷急線明瞭)	.....	.....	.....	G2には 該当なし	○	0	
	G3:台地の裾部、脚部浸食、オーバーハング、集水型斜面、土石流跡地など	G2,G3の内 複数地形該当	○	3	G1,3の内 複数地形該当	○	3	
	.....	.....	.....	.....	G1,3の内 1地形該当	○	2	
	.....	.....	.....	.....	G1,3には 該当なし	○	0	
	G4:尾根先端など凸型斜面、オーバーハング	G4に該当する	□		G4に該当する	□		(6)
土 質 ・ 岩 質 性	浸食に弱い土質	顎著	○	8	顎著	○	2	
	水を含むと強度低下しやすい土質	やや顎著	○	4	やや顎著	○		
	- その他	該当せず	○	0	該当せず	○	0	(2)
	割れ目や弱層の密度が高い	顎著	○	12	顎著	○	8	
	浸食に弱い軟岩	やや顎著	○	6	やや顎著	○	4	
	風化が速い岩質、その他	該当せず	○	0	該当せず	○	0	(8)
	流れ盤(層理面、弱線)	該当する	○	8	該当する	○	2	
		該当せず	○	0	該当せず	○	0	
崩 壊 構 造	不透水性基盤上の土砂	顎著	○	6	顎著	○	4	
	上部が硬質／脚部が脆弱な岩	やや顎著	○	4	やや顎著	○	3	
	- その他	該当せず	○	0	該当せず	○	0	(6)
	表土及び浮石・転石の状況	不安定	○	12	不安定	○	24	
		やや不安定	○	6	やや不安定	○	12	
		安定	○	0	安定	○	0	
	浮石・転石が不安定～やや不安定	該当する	□		該当する	□		(24)
表 層 の 状 況	湧水状況	湧水あり	○	8	湧水あり	○	4	
		しみ出し程度	○	4	しみ出し程度	○	2	
		なし	○	0	なし	○	0	(4)
	表面の被覆状況	裸地～植生主体	○	5	裸地～植生(草本)	○	16	
		複合(植生・草木)	○	3	複合(裸地・草木・木本)	○	10	
		構造物主体	○	1	木本主体	○	6	(16)
	勾配(i)、高さ	H>30m	○	18	H≥50m	○	10	
		H≤30, i>標準	○	15	30≤H<50m	○	8	
形 状 変 状	砂	i≤標準, 15≤H<30	○	10	15≤H<30m	○	6	
		i≤標準, H<15	○	5	H<15m	○	4	(10)
		H≥50m	○	18	i≥70°	○	10	
		30≤H<50m	○	16	45°≤i<70°	○	10	
		15≤H<30m	○	12	i<45°	○	5	(10)
		H<15m	○	10				
	当該のり面斜面の変状	複数該当・明瞭なものあり	○	12	複数該当・明瞭なものあり	○	10	
	(肌落ち・小落石・ガリ浸食・洗掘・ハイング孔・陥没・はらみ出し・根曲り・倒木・亀裂・開口亀裂、その他対策工の変状)	あり・不明瞭なもの	○	8	あり・不明瞭なもの	○	5	
隣接するのり面・斜面等の変状	なし	○	0	(12)	なし	○	0	(10)
	複数該当・明瞭なものあり	○	5		複数該当・明瞭なものあり	○	4	
	あり・不明瞭なもの	○	3		あり・不明瞭なもの	○	2	
	なし	○	0	(5)	なし	○	0	(4)
合計		のり面 : 0 点 (A1)		自然斜面 : 0 点 (A2)				

注)( )は各項目の満点を示す。

該当する場合は配点欄に○印をつけると共に点数を記入する。

不明な場合は中間的な値を採用する。



[履歴](C)  
\* 最近の対策実施以降、落石・崩壊が当該のり面・斜面等で発生していない場合には、履歴からの評価は実施する必要なし。

→(C)を0点とする。

被災の頻度・程度区分	配点	評点
最近の対策以降、道路交通への支障が生じたことあり。(対策工の効果なし)	100点	○
交通への支障はないが路面に達する比較的大きな落石・崩壊の履歴あり。(対策工が万全ではない)	70点	○
のり面・斜面先にとどまる程度の小規模な落石・崩壊の履歴はあり。(対策工の効果はあるが、追加対策が必要と思われるもの)	40点	○
	(C)	点



対応	判定
対策が必要と判断される。	○
防災カルテを作成し対応する。	○
特に新たな対応を必要としない。	○

[地震時の安定性]	
安 定	○
不 安 定	○

\* 地形でG4または浮石・転石が不安定な場合は、不安定欄に○印をつける。

[主な点検対象]	[主な災害形態]
のり面	落 石
自然斜面	崩 壊

※総合評価で示した判定がのり面部分、自然斜面のどちらに該当するかを示す。また、想定される主な災害形態が落石か崩壊かを示す。

様式-16 被災履歴記録表

管 理 機 関 名	
管 理 機 閣 コ ード	

施設管理番号		被災種別		発生位置	距離標(自)	0 0 0 0	0 0	(至)	0 0 0 0	0 0	上下線の別	他	
H8年度防災点検箇所	非該当				北緯	0 度 0 分 0.0 秒	東経	0 度 0 分 0.0 秒	測地系	世界測地系			

平面図(被災・対策)

断面図(被災・対策)

スケッチ・現況写真(被災・対策)		特 記 事 項						
		発生年月日	H	年	月	日		
		規 模	幅、長さ、深さ(m)	0.0 m、	0.0 m、	0.0 m		
		誘 因	降雨:連続	0.0 mm 最大	0.0 mm/hr	地震:震度	0.0 加速度	0.0 gal
		被 害	人身:死者	0 人、負傷者	0 人、物損:	被害額:	0 百万円	
		通行止実績	全面	0 時間、片側	0 時間、路肩規則	なし		
		対 策 工	施工年度:	対策工種:		概算工費:	0 百万円	

## 現状記録写真

管 理 機 関 名										
管 理 機 関 コ ード										

施設管理番号	点検対象項目	路線名	距離標(自)	(至)	上下線の別	延長	m
事業区分	道路種別	現道・旧道路区分	所在地	大分県 市	位置目印	北緯 度 分 秒 東経 度 分 秒	測地系

写真

写真

起点側から

上から

写真

写真

終点側から

吹付工の亀裂

## 防災カルテ様式 A

地 建・都道府県名	
管 理 機 関 名	
管 理 機 関 コ ード	.....

施設管理番号	点検対象項目	路線名	距離標(自)	(至)	上・下・他	延長 m								
事業区分	一般・有料	道路種別	主要地方道	現道・旧道区分	所在地	位置目印	北緯°' " 東経°' "							
事前通行規制区間指定	有(通行特殊)・無	規制基準	連続 mm	連続 mm	交通量 平日	台/12h	休日	台/12h	D I D 区間	該当・非該当	バス路線	該当・非該当	迂回路	有・無
【点検地点位置図】※スケッチと位置を明記する。														
専門技術者による点検														
着目すべき変状	点検内容の要点													
.....	.....													
.....	.....													
.....	.....													

## [専門技術者のコメント]

①	対策工が必要
②	カルテ対応

1、2のどちらかに対応するものに○印

着目すべき変状	点検の時期	想定される災害形態	変状が出たときの対応
作成月日 年 月 2 日 (天候：)	専門技術者名	会社名	連絡先 TEL
作成月日 年 月 30 日 (天候：)	専門技術者名	会社名	連絡先 TEL

防災カルテ C-1

防災カルテ点検:写真位置図

路線名	0	管理番号
-----	---	------

## 現状記録写真

管 理 機 関 名										
管 理 機 関 コ ード										

施設管理番号	0 0 0 0 0 0 0 0 0	点検対象項目	0	路線名	0	距離標(自)	0 0	秒	0 0	(至)	0 0	秒	0 0	上下線の別	延長	0.0 m
事業区分	道路種別	現道・旧道路区分	0	所在地	大分県 市	位置目印	0	北緯	0 度	0 分	0.0 秒	東経	0 度	0 分	0.0 秒	測地系

写真

写真

写真

写真

## 調査記録表

管 理 機 閣	
---------	--

路線名	整理番号	施設管理番号	所在地	大分県	距離標(自)	(至)	
現道・旧道区分	幅員5.5m以上の有無	上下線の区別	事前通行規制の有無	道路防災点検結果	災害履歴の有無	緯度・経度 (世界測地系)	起点 北緯 東經
施設種別	施設種別詳細	施設延長(m)	完成年月	年 月	最新の補修履歴	年 月	終点 北緯 東經
補修内容							

平面図(構造物の位置、範囲が分かるもの)

位置図(縮尺1/25,000)

展開図

横断図

(※点検結果を図示)

&lt;一次調査結果&gt;

調査実施年月: 年 月

所見:

&lt;二次調査結果&gt;

調査実施年月: 年 月

所見:

判定区分

判定区分

今後の対応:

健全性

備考:

## 現状写真

管理機関

路線名		整理番号		施設管理番号		所在地	大分県	距離標(自)		(至)	
-----	--	------	--	--------	--	-----	-----	--------	--	-----	--

写真位置図

## 現状写真

管理機関

路線名		整理番号		施設管理番号		所在地	大分県	距離標(自)		(至)	
-----	--	------	--	--------	--	-----	-----	--------	--	-----	--

写真

写真

写真

写真

別紙2

二次点検展開図

管 理 機 関	

路線名		整理番号		施設管理番号		所在地	大分県	距離標(自)		(至)	

A	B	C	D	F	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	Y	Z	AB	AD
点検履歴付き舗装台帳(舗装台帳データ)																								
	行・列の挿入、削除不可																							
	注意:列有り 注意:列有り 注意:列有り																							
	注意:列有り 注意:列有り 注意:列有り																							
	基 本 情 報 入 力																							
ID	取り込みマーク	基 本 情 報 入 力																						
	① 入力年月 日	② 事務所名	③ 道路種別	④ 路線番号	⑤ 枝番	⑥ 路線名	⑦ 距離標		⑨ 調査区間		⑩ 交通量 (台/日)	⑪ 大型車 交通量 (台/日) 方向	⑫ 大型車 交通量 区分	⑬ レベル	⑭ 優先度	⑮ 車線数		⑯ 幅員(m)		⑰ 構造物名		⑲ 最新の MCI		
							自	至	番号	延長	m	平日	平日			左側通行帯	右側通行帯	左側通行帯	右側通行帯					
1	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号		0	510	86	1	510	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0	新竹田津トンネル	
2	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	510	790	1	1,280	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0	新竹田津トンネル			
3	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	790	1010	2	1,220	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0	新竹田津トンネル			
4	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1010	1060	3	1,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
5	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1060	1110	3	50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
6	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1110	1160	3	50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
7	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1160	1210	3	4,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
8	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1210	1260	3	50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
9	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1260	1298	3	6,38	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
10	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1298	1348	4	1,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
11	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1348	1398	4	2,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
12	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1398	1448	4	3,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
13	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1448	1498	4	4,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
14	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1498	1548	4	5,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
15	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1548	1598	4	6,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
16	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1598	1648	4	7,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
17	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1648	1698	4	8,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
18	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1698	1748	4	9,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
19	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1748	1787	4	10,39	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
20	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1787	1837	5	1,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
21	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1837	1887	5	2,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
22	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1887	1937	5	3,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	2.8	2.8				
23	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1937	1987	5	4,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
24	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	1987	2037	5	5,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
25	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2037	2087	5	6,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
26	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2087	2137	5	7,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
27	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2137	2187	5	8,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
28	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2187	2237	5	9,34	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
29	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2237	2271	6	1,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
30	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2271	2321	6	2,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
31	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2321	2371	6	3,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
32	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2371	2421	6	4,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
33	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2421	2495	6	5,74	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
34	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2495	2510	6	6,15	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
35	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2510	2560	6	7,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
36	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2560	2610	6	8,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
37	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2610	2675	6	9,65	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
38	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2675	2725	7	1,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
39	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2725	2775	7	2,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
40	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2775	2825	7	3,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
41	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2825	2875	7	4,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
42	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2875	2925	7	5,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
43	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2925	2975	7	6,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
44	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	2975	3025	7	7,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
45	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3025	3075	7	8,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
46	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3075	3125	7	9,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
47	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3125	3152	7	10,27	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
48	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3152	3181	7	11,29	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0	新竹田橋			
49	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3181	3189	7	12,8	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
50	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3189	3239	8	1,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
51	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3239	3289	8	2,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
52	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3289	3339	8	3,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
53	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3339	3389	8	4,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
54	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3389	3439	8	5,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
55	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3439	3489	8	6,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
56	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3489	3539	8	7,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
57	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3539	3589	8	8,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
58	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3589	3639	8	9,50	5,237	206	N4	4	4	1	1	3.0	3.0				
59	1	H25.4.25	霞後高田	一般国道	4213	0	国道213号	3639	3689	8	10,50	5,237</												

※一部を例として掲載している  
※全12土木事務所の管理路線すべてのデータが存在する

	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AT	AU	AV	AW	AX	AY	AZ	BA	BB	BC	BD	BE	BF	BH	BI
3																													
4																													
5																													
6																													
7																													
8																													
9	H25.4.25	5																											5
10	H25.4.25	5																											5
11	H25.4.25	5																											5
12	H25.4.25	2																											2
13	H25.4.25	2																											2
14	H25.4.25	2																											2
15	H25.4.25	2																											2
16	H25.4.25	3																											3
17	H25.4.25	3																											3
18	H25.4.25	3																											3
19	H25.4.25	3																											3
20	H25.4.25	3																											3
21	H25.4.25	3																											3
22	H25.4.25	3																											3
23	H25.4.25	5																											5
24	H25.4.25	6																											6
25	H25.4.25	5																											6
26	H25.4.25	5																											6
27	H25.4.25	5																											5
28	H25.4.25	5																											6
29	H25.4.25	5																											5
30	H25.4.25	5																											5
31	H25.4.25	5																											5
32	H25.4.25	5																											6
33	H25.4.25	5																											6
34	H25.4.25	6																											6
35	H25.4.25	6																											6
36	H25.4.25	6																											6
37	H25.4.25	6																											6
38	H25.4.25	6																											6
39	H25.4.25	5																											5
40	H25.4.25	5																											5
41	H25.4.25	5																											5
42	H25.4.25	5																											5
43	H25.4.25	5																											5
44	H25.4.25	5																											5
45	H25.4.25	5																											5
46	H25.5.2	5																											6
47	H25.5.2	5																											5
48	H25.5.2	3																											3
49	H25.5.2	3																											3
50	H25.5.2	3																											3
51	H25.5.2	3																											3
52	H25.5.2	3																											3
53	H25.5.2	3																											3
54	H25.5.2	5																											6
55	H25.5.2	5																											5
56	H25.5.2	3																											3
57	H25.5.2	5																											5
58	H25.5.2	5																											5
59	H25.5.2	5																											6
60	H25.5.2	5																											5
61	H25.5.2	3																											3
62	H25.5.2	3																											3
63	H25.5.2	3																											3
64	H25.5.2	3																											3
65	H25.5.2	3																											3
66	H25.5.2	3																											3
67	H25.5.2	3																											3
68	H25.5.2	2																											2
69	H25.5.2	2																											2
70	H25.5.2	2																											2
71	H25.5.2	2																											2
72	H25.5.2	2																											2
73	H25.5.2	2																											2
74	H25.5.2	2																											2
75	H25.5.2	3																											3

注意:列有り

注意:列有り

※一部を例として掲載している  
※全12土木事務所の管理路線すべて

	BJ	BK	BL	BM	BN	BO	BP	BQ	BR	BS	BT	BU	BV	BW	BX	BY	BZ	
3																		
4	改 良 状 況 入 力																	
5	① 最新の道路改良による舗装年度・ 設計交通量区分・CBR等				② 最新の道路改良による舗装構成													
6	舗設 年度	設計交通 量区分	工事番号	設計 CBR	現地 CBR	表面処理	表層	中間層		基層	上層路盤		下層路盤		路床			
7						工 法	厚さ cm	工 法	厚さ cm	工 法	厚さ cm	工 法	厚さ cm	工 法	工 法			
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		
41																		
42																		
43																		
44																		
45																		
46																		
47																		
48																		
49																		
50																		
51																		
52																		
53																		
54																		
55																		
56																		
57																		
58																		
59																		
60																		
61																		
62																		
63																		
64																		
65																		
66																		
67																		
68																		
69																		
70																		
71																		
72																		
73																		
74																		
75																		

※一部を例として掲載している  
※全12土木事務所の管理路線すべてのデータが存在する

※一部を例として掲載している  
※全12土木事務所の管理路線すべてのデータが存在する

	DD	DE	DF	I	DG	DH	DI	DJ	DK	DL	DM	DN	DO	DP	DQ	DR	DS	DT	DU	DV	DW	DX	DY	DZ	EA	EB	EC	
3																												
4	前回補修工事履歴入力																											
5																												
6	① 前回の舗装補修：施工年度、CBR等													② 前回の舗装補修：施工規格														
7	車線1	車線2	車線3	工事番号	補修工種	設計CBR	現地CBR	車線1	車線2	車線3	工事番号	補修工種	設計CBR	現地CBR	表面処理	表層	中間層	基層	上層路盤	下層路盤	路床							
8	年度	年度	年度					年度	年度	年度					工法	厚さcm	工法	厚さcm	工法	厚さcm	工法	厚さcm	工法	厚さcm	工法	工法		
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												
15	H17							H17																				
16	H21							H21																				
17	H21							H21																				
18	H21							H21																				
19	H21							H21																				
20	H21							H21																				
21	H21							H21																				
22	H21							H21																				
23	H21							H21																				
24																												
25																												
26																												
27																												
28																												
29																												
30																												
31																												
32																												
33																												
34																												
35																												
36																												
37																												
38																												
39																												
40	H21																											
41	H21																											
42																												
43	H15																											
44	H15																											
45	H15																											
46	H15																											
47																												
48	H21																											
49	H21																											
50	H21																											
51	H21																											
52	H21																											
53	H21																											
54	H17																											
55																												
56	H22							H22																				
57	H17																											
58	H17																											
59	H17																											
60	H17																											
61	H23																											
62	H23																											
63																												
64																												
65																												
66																												
67																												
68	H25																											
69	H25																											
70	H25																											
71	H25																											
72	H25																											
73	H25																											
74	H25																											
75																												

※一部を例として掲載している

※全12土木事務所の管理路線すべてのデータが存在する

	ED	EE	EF	EG	EH	EI	EJ	EK	EL	EM	EN	EO	EP	EO	ER	ES	ET	EU	EV	EW	EX	EY	EZ	FA	FB	FC
3																										
4	<b>管 理 者 外 工 事 入 力</b>																									
5	① 前回の管理者外工事・施工年度								② 最新の管理者外工事・施工年度等								③ 最新の管理者外工事・施工規格									
6	左側通行帯		右側通行帯		左側通行帯		右側通行帯		受付番号		申請者名		表面処理		表層		中間層		基層		上層		下層		路床	
7	車線1	車線2	車線3	車線1	車線2	車線3	車線1	車線2	車線3	車線1	車線2	車線3			工 法	厚さ cm	工 法	厚さ cm	工 法	厚さ cm	工 法	厚さ cm	工 法	厚さ cm	工 法	工 法
8	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度														
9																										
10																										
11																										
12																										
13																										
14																										
15																										
16																										
17																										
18																										
19																										
20																										
21																										
22																										
23																										
24																										
25																										
26																										
27																										
28																										
29																										
30																										
31																										
32																										
33																										
34																										
35																										
36																										
37																										
38																										
39																										
40																										
41																										
42																										
43																										
44																										
45																										
46																										
47																										
48																										
49																										
50																										
51																										
52																										
53																										
54																										
55																										
56																										
57																										
58																										
59																										
60																										
61																										
62																										
63																										
64																										
65																										
66																										
67																										
68																										
69																										
70																										
71																										
72																										
73																										
74																										
75																										

※一部を例として掲載している  
※全12土木事務所の管理路線すべてのデータが存在する